

(別記)

喜茂別町地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本町は、北海道の中央南西部・後志管内の東南部に位置し、77%を林野が占め耕地率は7%の山間農業地域である。

本町の農業は、基幹作物である馬鈴しょ、てん菜、小豆が畑作経営の中心となっているが、近年はトマト、メロン、花き等の高収益作物を振興し所得向上を図っている。また、農業就業人口に占める65歳以上の割合は年々増加し、後継者不足、担い手不足による農家戸数の減少に伴い、農地の一部遊休化する傾向が近年増加している。

2 作物ごとの取組方針

(1) 主食用米

本町における水稲作付は、自家用消費米の生産者が1戸0.3ha作付されており、今後新規作付の予定はないが、現状の作付を維持する。

(2) 馬鈴しょ

馬鈴しょは本町の基幹作物として位置づけられており、収量品質向上のため、輪作体系の確立と土壌診断に基づく施肥の適正化や病害虫対策に取り組み安定的かつ計画的な生産を推進する。

(3) 野菜（加工用含む）

本町における野菜生産は、自然条件や地理的条件に即応したブロッコリーや地元企業との契約栽培による加工用のスイートコーン、南瓜の推進を図り、農業所得の向上・農業経営の安定化を目指す。

また、栽培技術の向上と連作障害を避けるため輪作体系の確立を図り、高品質・安全性に重点を置き計画的に出荷できるよう産地化に向けた生産基盤や組織の強化を図る。

(4) 不作付地の解消

現在、不作付地の発生はなく、今後も継続して不作付地が発生しないように努める。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 28 年度の作付面積 (ha)	平成 29 年度の作付予定面積 (ha)	平成 30 年度の目標作付面積 (ha)
主食用米	0.3	0.3	0.3
飼料用米	0.0	0.0	0.0
米粉用米	0.0	0.0	0.0
WCS 用稲	0.0	0.0	0.0
加工用米	0.0	0.0	0.0
備蓄米	0.0	0.0	0.0
麦	0.0	0.0	0.0
大豆	0.0	0.0	0.0
飼料作物	0.0	0.0	0.0
そば	0.0	0.0	0.0
なたね	0.0	0.0	0.0
その他地域振興作物	3.13	4.06	4.10
野菜	3.13	4.06	4.10
・馬鈴薯	1.71	1.71	1.75
・ブロッコリー	1.42	0.25	0.25
・その他		2.10	2.10

4 平成 29 年度に向けた取組及び目標

取組 番号	対象作物	取組	分類 ※	指標	平成 28 年度 (現状値)	平成 29 年度 (目標値)	平成 30 年度 (目標値)
1	馬鈴薯 ブロッコリー その他	心土破碎	イ	取組面積	3.13 ()	4.06 ()	4.10 ()
					()	()	()
					()	()	()
					()	()	()

※「分類」欄については、実施要綱別紙 16 の 2 (5) のア、イ、ウのいずれに該当するか記入してください。(複数該当する場合には、ア、イ、ウのうち主たる取組に該当するものをいずれか 1 つ記入してください。)

- ア 農業・農村の所得増加につながる作物生産の取組
- イ 生産性向上等、低コスト化に取り組む作物生産の取組
- ウ 地域特産品など、ニーズの高い製品の産地化を図るための取組を行いながら付加価値の高い作物を生産する取組

※平成 30 年度以降の目標値を設定している場合は、「平成 29 年度 (目標値)」欄の右に欄を設け、目標年度及び目標値を記載してください。

※現状値及び目標値が単収、数量など面積以外の場合、() 内に数値を設定する根拠となった面積を記載してください。

5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり